

# 閉校に寄せて



第23代校長  
岩田 努

縁あって、管理職として、5年振り2度目の勤務をさせていただきました。しかし、今回は学校を閉じるという、大きな職責が加わっております。この2年間、閉校記念事業協賛会やPTA、後援会、振興会、同窓会をはじめ、新得町の皆様方のお力添えをいただき、式典をはじめとする諸行事、そして70年に渡った本校の教育活動を滞りなく終えることができたと思えます。新得高校がこれからも皆様の心に生き続け、語り継がれることを願っております。長きに渡るご支援に心より感謝申し上げます。



新得町長  
浜田 正利

これまで新得高校を支えていただいた多くの皆様に深く敬意と感謝の意を表します。新得高校が歩んできた輝かしい歴史は町の財産であり、そこで育まれた思い出、人と人との縁は私たちの財産です。歴史の幕が閉じる今、この財産を未来へ残していくのは私たちに他なりません。70年もの長きに渡って今まで紡がれてきた歴史が、さらに輝かしい未来へと繋がっていくことを切に願い、町長として、また卒業生としての惜別のご挨拶とさせていただきます。



会長  
振興会  
古川 金右

当会は、ご入会いただいた各企業・団体、同窓生など多くの皆様の援助により、新得高校を支援するべく様々な事業に取り組んでまいりました。閉校に至ったことは非常に残念でありますが、これまでの支援は多くの生徒の資質向上に寄与したに違いありません。振興会の活動に対する皆様のご理解とご協力に改めて感謝を申し上げます。



会長  
同窓会  
協賛会  
竹浦 隆

母校を失うことはいかなるものでも寂しさを感じるものであり、誠に残念でなりません。しかし、新高出身者としての自負と誇りを抱く多くの卒業生によって、新得高校の名はいつまでも語り継がれていくものと信じております。同窓会、協賛会の活動に多大なご協力をいただきましたこと、この場をお借りして感謝を申し上げます。



会長  
後援会  
金田 茂

学校存続危機の風が吹き荒れた5年前、「想像力で未来を変えられる」という思いから卒業生有志による行灯行列参加を決めました。心あるメンバーとともに青春ど真ん中の学生たちと町を練り歩き、同じ時間を共有できたことは、大変意味深いものでした。新得高校よ、最後まで感動をありがとうございました。



会長  
父母と先生の会  
(PTA)  
中村 貴宣

地域から一つの高校が無くなるという現実には大変残念な気持ちであり、今一度地域全体で教育の場を考えると来ているのではないかと感じます。卒業した13名が新得高校の誇りと仲間との絆を胸に、自分の描く未来に向かって一歩ずつ進んでいけることを強く願っています。卒業おめでとう。



握手を交わす大坂響新得高校生徒会長(右)と島津光翔新得高等支援学校生徒会長

# ありがとう 新得高校 輝けその名

平成28年4月から、新得高校と校舎を共有して「新得高等支援学校」が開校しました。

今年の4月からは、校舎の全てが支援学校へと引き継がれます。

新得高校は閉校となりますが、生徒に愛された学び舎はこれからも子どもたちを見守り続けていきます。

70年の歴史、紡がれてきた思いは、次の時代へとつながっていきます。

新得に生まれたもう一つの高校。新得高校と変わらぬ地域の愛で見守っていきましょう。



(引用) 北海道新得高等学校  
閉校記念・創立70周年記念誌